

エリザベト演奏グレード検定試験課題
鍵盤楽器
副科ピアノ

【留意事項】

1. すべて暗譜のこと。
2. 指定のある課題以外は繰り返しなしで弾くこと。
3. 任意の曲は、クラシック作品あるいはそれに準ずるものとします。
4. グレード6以上の受験には、1つ下のグレードの取得が必要です。
5. 申込方法は、エリザベト音楽大学発行の『受験案内』を参照ください。

【副科ピアノ】

グレード1

任意の1曲

グレード2

楽曲

- (1) J.S. バッハの作品より任意の1曲
例 アンナ・マグダレーナの為のクラヴィーア小曲集
- (2) 任意の1曲
例 バルトーク ミクロコスモス3巻より

グレード3

技術課題

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット2つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調（短調は和声的音階と旋律的短音階両方弾くこと）1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。長調は繰り返しなしでカデンツを付けること。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。
- (2) 練習曲：任意の1曲
例 J. ブルクミュラー 25の練習曲

楽曲

3分程度の任意の1曲

例 L.v. ベートーヴェン バガテル

グレード4

技術課題

- (1) 音階：調号がシャープ、フラット3つまでの調を範囲とし、平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。長調は繰り返しなしでカデンツを付けること。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。
- (2) 練習曲：任意の1曲
例 C. ツェルニー 30番の練習曲。

楽曲

5分以内の任意の1曲

例 ソナチネ・アルバムより クーラウのソナチネ

グレード5

技術課題

- (1) 音階：全調の音階の中から、平行調の関係にある長調・短調1組を試験時に指定。奏法は《ハノン》第39番に準ずる。長調は繰り返しなしでカデンツを付けること。短調は和声的短音階に続きカデンツなしですぐに旋律的短音階を弾いた後にカデンツを付けること。
- (2) 練習曲：任意の1曲

楽曲

- (1) J.S. バッハ《インヴェンション BWV772-786》より1曲
- (2) 5分程度の任意の1曲
例 古典のソナタより1曲